

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立豊新小学校

令和 4 年 4 月

大阪市立豊新小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校教育目標

- ◇豊かな心で、語り合うことのできる子どもを育てる
- ◇新たな知を拓き、真実を学び続ける子どもを育てる
 - ・たくましい身体になる子ども
 - ・ゆたかな心をもつ子ども
 - ・よく考える子ども

2 学校運営の中期目標

現状と課題

【生活について】

本校は素直で明るく、元気よくあいさつのできる児童が多い。また、ここ数年、重大な問題行動もなく、安定した学校生活を送ることができている。コロナ禍においても、マスクの着用・無言給食・無言清掃等の生活規律も児童会を中心に啓発活動を行い、多くの児童が学校の決まりを守りながら、主体的に取り組むことができている。また、体験的な学習を好む児童が多い中、コロナ禍のために、校外での体験的な学習活動が限定されており、実物に触れる機会が少なくなっている。学校行事、委員会活動やクラブ活動に関して、感染予防を講じた上で、積極的に取り組めている。高学年児童は低学年児童に優しい心を持って接し、低学年児童は高学年児童に対して尊敬の念を持って親しんでいる。地域や保護者も学校の教育活動に好意的で、多大なる支援・協力を得ることができている。

【学習について】

日々の学習活動では、「言語活動の充実」を目指した研究をベースとし、基礎的・基本的な知識や技能の定着を目指し、反復学習や視写に取り組んでいる。令和 3 年度における全国学力・学習状況調査や大阪市学力経年調査の結果、国語科においては学力の向上が見られ、全学年大阪市平均を上回った。しかしながら、算数科では、大阪市平均をわずかに下回っている。そこで、ICTを効果的に活用した学習を取り入れながら、課題に対し自立的、協働的解決できる授業を実践していく。さらに教科横断型となる教育課程の工夫を重ね、「主体的・対話的で深い学び」の実践を深めながら、学力向上を目指す。また、外国語活動については、学習内容の深化充実ならびにモジュール学習の確実な定着を図りながら、意欲を高めていく。

体力向上に関しては、各学年とも跳躍力や持久力、俊敏性の向上を目指し指導している。しかしながら、コロナ禍で体育活動に制限があり、運動量の減少から児童の体力低下が懸念されている。豊富な運動量を確保した体育科授業の推進、運動を楽しく取り組むきっかけ作りを行い、進んで運動をする意欲の向上を図っていく。

日々の教育活動や行事等を通して、自己肯定感や自尊感情を高めることで、他者を思いやる豊かな心を育み、真実を学び続けられるようにする。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

中期① 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする児童の割合を90%以上にする。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

中期② 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

中期③ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

中期① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合45%以上(R3経年 38.3%)にする。(施策4 誰一人取り残さない学の力向上)

中期② 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

中期③ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上(R3経年 87.7%)にする。(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)

中期④ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。(施策5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

中期① 令和7年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)

中期② 令和7年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉序日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。(基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

中期③ 令和7年度末の校内調査の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より3ポイント増加させる。(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

3 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

○令和4年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由であってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

（施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現）

学校の年度目標

○令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を92%以上（R3経年 95.7%）を維持する。

（基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現）

○令和4年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和3年度（R3 39%）より3%増加させる。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上（R3経年 38.3%）にする。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上（R3経年 87.7%）にする。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

（施策5 健やかな体の育成）

学校の年度目標

○令和4年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を73%以上（R3校内 71%）を維持する。

（施策4 誰一人取り残さない学力の向上）

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和4年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。
(基本的な方向5 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進)
- 令和4年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。
(基本的な方向6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)
- 令和4年度末の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より1ポイント増加させる。
(基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進)

学校の年度目標

- 令和4年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（R3校内 86%）にする。（基本的な方向8 生涯学習の支援）
- 心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90 % 以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめアンケートを定期的に(学期に 1 度)実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。</p>	
<p>指標 学期に 1 度、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。</p>	
<p>指標 月に 1 回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>ICT の活用による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。</p>	
<p>指標 学校に来ることが難しい児童にクロームブックを貸し出し、週に 1 回以上オンライン学習を実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 9 3 %以上 (R 3 経年 9 5. 7 %) を維持する。 令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 3 年度 (R 3 3 9 %) より 3 %増加させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。</p>	
<p>指標 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を指導支援をする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>キャリアパスポートに基づき、体験活動等で得た達成感や充実感を振り返り、自尊感情の育成を図る。</p>	
<p>指標 学期に 2 回、キャリアパスポートで目標の設定と振り返りを実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上（R3経年 38.3%）にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上（R3経年 87.7%）にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p>指標 1日1回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。</p>	
<p>指標 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、学期に1回点検する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p>	
<p>指標 外国語活動・英語教育の教員研修会を年3回実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70 %以上 (R 3 経年 68 %) にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。</p>	
<p>指標 運動委員会を中心に 4 回以上 (1 学期 1 回、2 学期 2 回、3 学期 1 回) 体を動かす活動を計画し実施する。1 1 月 (なわとび) と 2 月 (かけあし) に「運動強調週間」を実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。</p>	
<p>指標 年 1 回以上の性教育を実施する。9 月と 2 月に「手洗い強調週間」を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>栄養指導や給食指導において、食べることの楽しさやバランスのよい食生活を大切にする気持ちを養う取り組みを行う。</p>	
<p>指標 食に関する指導を学期に 1 回以上取り組む。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた		B : 目標どおりに達成した D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた
年度目標		達成状況
【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ・令和 4 年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を 73 %以上（R 3 校内 71 %）にする。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。		
指標 教員が一人 1 回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を 8 回以上行う。		
取組内容②【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。		
指標 言語活動の充実を図り、1 日 1 回以上、話し合う活動を取り入れる。		
取組内容③【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】 年 3 回学力向上 week を実施し、児童の国語力を伸ばす。		
指標 学期に 1 回の学力向上 week（1 学期に「音読・群読」、2 学期に「漢字」、3 学期に「作文」）を実施する。		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(様式 2)

大阪市立豊新小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した C : 取り組んだが目標を達成できなかつた D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>【 I C T の活用に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 85 % 以上にする。 <p>【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末にゆとりの日について、週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業以外の休業期間においては 1 日以上設定する。 令和 4 年度末の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和 3 年度より 1 ポイント増加させる。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向番号 5 DX (デジタルトランスフォーメーションの推進)】 I C T (心の天気、デジタルドリルなど) を活用した教育を推進する。</p> <p>指標 日々の授業の中で学習者用端末をほぼ毎日使用する。</p> <p>取組内容②【基本的な方向番号 6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に 1 回設定・実施する。</p> <p>指標 ゆとりの日について、週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外においては 1 日以上設定する。</p> <p>取組内容③【基本的な方向番号 9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。</p> <p>指標 月に 1 回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週 1 回、学年の活動をホームページに掲載する。</p>	進捗状況
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上（R3校内 86%）を維持する。 心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事（演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能）ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施する。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】 学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。	
指標 週に1回、図書館を利用する。10月に読書月間を実施する。	
取組内容②【基本的な方向番号 8 生涯学習の支援】 芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動（社会見学）を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。	
指標 芸術鑑賞行事、3～6年生で社会見学を確実に1回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	